

○現行計画 文化の光が新たな元気を生み出し 人と地域が輝く“新生ふくしま”の創造  文化の力での復興

文化は、地域のきずなを強め、地域を誇りに思い、勇気と元気を与え、東日本大震災、原子力災害、風評被害の克服に立ち向かう県民を励ます力があり、「こころの復興」を遂げる上で重要なもの。(現計画抜粋)

①東日本大震災・原子力災害などの困難を乗り越え、復興を進め、新たなステージに立ったこと
災害の記録・教訓等の継承、これまでの復興の歩み → 多様なふくしまの文化へ

これまで受け継がれてきた文化を守り・育て・継承(復興)しつつ、文化の発展・創造(ネクストステージ)へ

②コロナ禍でのデジタル技術の普及による文化活動への影響
文化の創作活動、発表・鑑賞、交流活動への活用 → 新たな可能性の拡大

文化による人と地域の活性化

文化を創り、つなぐ 人と地域に元気とやすらぎがあふれるふくしま

①

新たな総合計画の基本目標「共に創り、つなぐ」を参照。文化を創造する視点を強調。

②

豊かな文化を創り、次代へつなぐ 人と地域が輝く“ふくしま”

上記の理念は踏まえつつ、わかりやすさを重視。

③

文化で創る心豊かな人と元気な地域
魅力あふれる「ふくしま」の実現

文化による人と地域の活性化という視点を強調

基本目標案

目標実現のための文化振興の視点

◆文化を「創り上げる力」を養う 豊かな創造性と感性の創造

◆文化を守り、つなぎ、「地域力」を養う 地域の個性と魅力の向上

◆人と地域をつなぐ「文化力」を養う 新たな魅力や価値を生み出す力(文化力)の向上